

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりの木放課後デイサービス		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 21日		～ R6年11 月29 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 26名(2組み兄弟)
○従業者評価実施期間	R6年11月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・コミュニケーションが苦手な友達と輪に入れない、友達を傷つけてしまうなど言動が気になる子供に個別指導や集団指導をすることでソーシャルスキルの獲得ができるように支援している	・個々の子どもの様子をよく見て必要な支援をし一つでもできる事を増やしていくことで自信が持てるようにしている、 ・人とかかわる時のルールやマナーを身につけたり、相手の話を聞いたり、自分の気持ちを上手く伝えたりする力を身につけていけるように遊びや活動を通して学べるようにしている	・楽しくソーシャルスキルを獲得できるように環境づくりや子どもの立場に立って考えることを行っている
2	・地域の子どもと目の前の公園で合流できるため、仲間づくりが活発に出来ており、地域の子どもが訪問してくれることもある	・遊びの時には地域の子どもにも声をかけ一緒に遊べるようにしている	・イベント等への誘いなども行っていこうと考えている
3	・職員の人数を配置基準より多くしている	・子どもの状態を深く知るため多くの職員配置をおこなっている。	・沢山の目や耳で子どもの様子を見ることで子どもの状態をよく知り支援を行うようにしていく ・安全に活動できるようにしている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の一番端に事業所がある為、移動に時間がかかる	・なるべく分散をしてお迎えをすることで時間短縮を図っている	・子どもを待たせないようにお迎えの時間を工夫したり、安全に通所することができるように学校と連携を取っている
2	・地震(津波)や大雨の時にすぐに建物が水に浸かってしまう可能性が大きい	・事業所のある場所が低い位置にある ・側に川や海がある	・近くの高台に早く避難するため年に3回の避難訓練をしている
3	・子どもの活動スペースが十分でない	・近くの公民館のスペースや市の体育館などを借りて活動を行っているが移動が大変となっている	・事業所の駐車場を利用して砂場スペースにしたり、公園のスペースを使うことで活動を行っている